

令和6年度地域貢献プロジェクト事業報告書

キャンパス名 釧路校
 代表者氏名 中西 紗織

プロジェクト名	本学と鹿追町との相互協力協定に基づく「交響吹奏楽部出張吹奏楽教室及び合同コンサート」
プロジェクトの概要	小・中・高一貫教育を推進している鹿追町教育委員会からの強い要望があつての相互協力協定事業であり、毎年12月に鹿追町の小・中・高校生を対象に、吹奏楽の技術指導及び合同発表演奏会を開催している。コロナ禍の前は一泊二日で開催。コロナ禍影響下ではオンラインライブ配信、オンデマンド配信コンサートや遠隔合奏によるDVD、CD制作及び鹿追町への送付によって実施した。令和3年度以降は毎年12月に日帰りで実施している。今年度も鹿追町の実行委員会及び学校関係者皆様と事前に綿密な打合せを行い、実施した。日時・場所：2024年12月22日（日）鹿追町民ホール
地域・学校・子ども等に還元した成果	長年継続的に行ってきた事業だからこそありうる成果とともに、合同演奏発表会による児童・生徒と大学生の演奏技術や表現力・コミュニケーション能力向上が確認できる。参加した児童・生徒にとっては、他の地域の児童・生徒と交流を図るだけでなく、地域に根づいたイベントとして地域の人々とも関わりができ、音楽を通じた地域活性化にもつながる。また、最高学年の児童・生徒は、周りを引っ張る必要があるので高い技術やリーダーシップが求められ、普段自分たちだけで練習したり演奏したりするよりも高いモチベーションを持って参加している。当日の観客数もほぼ満席の400名以上であり、この時期に行われる重要な行事として地域の人々が毎年楽しみにしているということである。吹奏楽指導をされている先生方からも、大学生の指導や演奏によって子供たちが良いお手本を得て、それぞれ目標を持って自発的自律的に演奏表現に取り組む力を向上させていることを聞いた。大学生にとっても、現場の先生方の音楽指導から学ぶ貴重な機会でもある。地域に根差した活動の良さを学生が実際に体験できる機会でもあり、音楽を通じた地域との連携協働や地域貢献のあり方への新たな展望が今後も期待できる。
学生資質向上・教職資質向上のために果たした成果	本プロジェクトは、学生の吹奏楽指導研修、即ち音楽の指導実習（小・中・高校生対象）であるだけでなく、音楽教室を通じた子供たちや保護者・関係者、現職の先生方とのコミュニケーション実践の場でもあり、食事や懇親の時間を共にすることを通じた多様で総合的な学びの機会でもある。学生は、音楽を通じた現職の先生方と子供たちとのやりとりを直接学習できただけでなく、先生方からの指導を受けることもできた。多様な人々が関わる、地域を实践現場とした教育のあり方や意義を、学生が主体的に捉え自ら考え発見し、近い将来教員となった時に活かすための展望を得ることができた。

キャンパス及び 大学への貢献	「へき地・小規模校教育研究センター」が置かれている釧路校の掲げる「へき地・小規模校の教育に対応した教員養成」「学校現場と地域社会で実践力を磨く」といったコンセプトに深く関わり、教員養成課程の学生の資質・能力向上に大きく貢献するプロジェクトである。また、このプロジェクトを通して、参加した児童・生徒が釧路校への興味・関心を深め、大学生をお手本として教員を志望することにもつながっている。実際、この吹奏楽教室及び合同コンサートの参加者から釧路校への入学者が続いている。
-------------------	--

※プロジェクトに関係する資料がある場合は、併せて提出してください。